

平成 2 8 年度

第 2 回 柏市社会教育委員会議

会 議 資 料

平成 2 8 年 1 1 月 8 日

柏市社会教育委員 委員名簿

所属等	職務名	氏名 ※敬称略
柏市立手賀西小学校	校長	宇佐見 文夫
柏市立逆井中学校	校長	加藤 定浩
柏市子ども会育成連絡協議会	副会長	塚田 昌美
柏市青少年健全育成推進連絡協議会	会長	下田 豊繁
柏市PTA連絡協議会	顧問	川鍋 伸治
柏市ふるさと協議会連合会	会長	吉田 勝彦
柏市立図書館協議会	副会長	井上 玲子
さわやかちば県民プラザ	所長	浅岡 裕
柏市地域支援課	市民協働支援員	村田 修治
柏市公民館運営審議会	委員	神田 玲子
柏市少年補導センター運営協議会	委員	永井 行雄
柏市民生委員児童委員協議会	副会長	小林 新子
「みんなの子育て広場」	支援コーディネーター	岩淵 弘美
開智国際大学	名誉教授	池沢 政子
市民公募	公募委員	清水 雅文

任期：平成27年6月1日から平成29年5月31日まで

柏市教育委員 出席職員簿

所 属	職 名	氏 名	
生涯学習部	部 長	篠原 忠良	
生涯学習部生涯学習課	課 長	高村 光	
	統括リーダー	橋本賢一郎	
	主 査	飯田かゆり	
	主 事	渡辺 和博	
	生涯学習専門 アドバイザー		崩拔 博孝
			石井 礼子
			大場 力

次 第

1 開会

2 生涯学習部長あいさつ

3 社会教育委員会議長あいさつ

4 説明事項

(1) 他市町村における社会教育委員の答申・建議等について

(2) 柏市における過去の提言について

5 協議事項

(1) 子どもの体験活動（概念図案）について

(2) 子どもの体験活動（事業案）について

6 閉会

目 次

1	他市町村における社会教育委員の答申・建議等について	2
2	柏市における過去の提言について	4
3	子どもの体験活動（概念図案）について	6
4	子どもの体験活動（事業案）について	7
5	平成28年度社会教育委員会会議について	8

1 他市町村における社会教育委員の答申・建議等について

- ・ 社会教育委員は，社会教育に関する諸計画の立案，教育委員会に対する答申・建議等を行うとされています。

○社会教育法

第 17 条 社会教育委員は，社会教育に関し教育委員会に助言するため，

次の職務を行う。

- (1) 社会教育に関する諸計画を立案すること。
- (2) 定時又は臨時に会議を開き，教育委員会の諮問に応じ，これに対して，意見を述べること。

- ・ 平成 27 年度は，9 都道府県，6 政令市，26 市町村で答申等が行われました。
- ・ 答申等の内容は，子育て，家庭教育，学校支援及び学校・地域・家庭の連携・協働，コミュニティや生涯学習社会の構築などに関するものが多くなっています。

・ 他市町村における社会教育委員の答申・建議等については、次のとおりです。（社教連会報第79号）

秋田県：大館市社会教育委員の会議 2016.3.23 「第6次大館市社会教育中期計画について」
栃木県：宇都宮市社会教育委員の会議 2015.10 「社会の要請」と求められる学習 那須塩原市社会教育委員 2015.4.23 平成25・26年度社会教育委員からの提言
神奈川県：藤沢市社会教育委員の会議（建議）2016.6.27 次期生涯学習ふじさわプランにおける社会教育委員会議提言 横須賀市社会教育委員の会議（建議）2016.3.31 「学びの成果を生かしていく仕組みづくり」を推進する上での現場ニーズや課題等の検討について 茅ヶ崎市社会教育委員の会議 2016.3.17 社会教育施設、社会教育関係団体等の活動の活発化に向けて～地域の教育力を高めるために～ 寒川町社会教育委員の会議 2016.2.17 「地域をつなぐ社会教育の在り方について」 二宮町社会教育委員の会議 2016.3.22 地域の人材ボランティアの活用～放課後子ども教室サポーター 山北町社会教育委員の会議（建議）2016.2.9 「子どもたちの日常の過ごし方」について～地域全体での子育て支援策を柱とする社会教育の対応 南足柄市社会教育委員の会議（建議）2016.2.25 南足柄市新生涯学習推進プランの一部改訂について 小田原市社会教育委員の会議 2016.7.21 「地域における遊び場のあり方について」
山梨県：甲州市社会教育委員の会議 2016.2.10 わだつみ平和文庫の利用について
長野県：岡谷市社会教育委員の会議（意見）平成28.3.8 「社会教育行政のより一層の推進を図る」ため 諏訪市社会教育委員会議（提言）平成28.3.15 「社会教育施設の整備について」「社会教育分野の事業について」 下諏訪町社会教育委員会（答申）平成28.3.24 少子・高齢化社会が進行する中、未来の下諏訪を担う子どもたちの社会的・精神的・職業的自立に向けて必要な基盤となる能力や態度を身につけていくための手立てはどうあったらよいか 駒ヶ根市社会教育委員（答申）平成27.10.1 駒ヶ根市生涯学習プランの見直しについて 松本市社会教育委員会議（提言）平成27.7.30 子どもの健やかな育ちへの大人のかかわり～人とのつながり、コミュニケーションのできるまちづくりをめざして 中野市社会教育委員 平成27.4 心豊かな生涯学習社会をめざして～中野市社会教育委員～
滋賀県：甲賀市社会教育委員の会議（提言）2016.3.29 地域コミュニティにおける社会教育（公民館の役割）～地域コミュニティの構築～ 湖南市社会教育委員会議 2016.3.31 基本的な生活習慣パンフレット作成の取り組み 愛荘町社会教育委員会議（提言）2015.9.4 あいさつができるまちづくりの推進について
和歌山県：橋本市社会教育委員会議 平成27.11.24 「橋本市生涯学習推進計画に向けた提言書」 有田市社会教育委員会議（答申）平成27.10.27 「有田市生涯学習推進計画策定について」
広島県：三次市社会教育委員会（提言）平成27.12 「家庭の教育力の向上にむけて」
山口県：防府市社会教育委員の会議（中間報告）2015.11.27 防府市における学校・家庭・地域の連携・協働についての具体的な方策について
沖縄県：浦添市社会教育委員の会議（提言）平成28.3.30 シニア世代の活力を地域に生かす施策のあり方について

注1：補助金及び単年度の施策等に関する答申等、諮問中の案件については割愛

注2：元号、西暦の表記は報告書の表記に準拠

2 柏市における過去の提言について

柏市においては、以下のような提言が行われています。

○平成17年2月

提言書 地域と家庭における社会教育のあり方について

家庭の重要性を再認識し、家庭、学校、地域社会の連携・協力体制づくりについて提言

- 1 家庭の教育力向上への方策
- 2 学校支援体制づくり
- 3 子どもの居場所づくりとその必要性
- 4 地域にある既存の教育施設等の再評価と活性化
- 5 社会教育団体等との連携協力体制づくり
- 6 市民への広報活動と情報の提供

○平成19年2月

地域と学校の連携・融合による小学生の「安全・安心」な生活環境づくりについて提言

通学路での登下校時における安全確保の対策と小学生の居場所づくりへの対策について提言

- 1 登下校時における安全確保対策
学校、家庭、地域がより連携・融合して「安全・安心なまちづくり」を目指す
- 2 小学生の居場所づくり対策
「都市部」、「農村部」、「混住地区」の3地区に、各一か所の「居場所モデル地区」の設定を目指す

○平成23年2月

提言書 家庭教育振興方策について

家庭教育支援の取り組みを「家庭」「地域」「学校」「行政」「企業」の5つの視点から提言

1 家庭自ら取り組む家庭教育支援

- (1) 「家庭の日」の啓発を行う
- (2) 子どもの拠り所となる家庭づくり

2 地域社会全体が取り組む家庭教育支援

- (1) 地域社会全体での子育て支援
- (2) 学習機会の充実

3 学校・PTAが取り組む家庭教育支援

- (1) 学校・家庭・地域社会が連携し一体となった子育て支援づくり
※この中で、「みんなの子育て広場」の立ち上げを提案
- (2) 「放課後子ども教室事業」の拡大
- (3) 学校から発信する家庭教育支援の充実
- (4) 自主的に活動できる「おやじの会」の発足

4 行政が取り組む家庭教育支援

- (1) 子育て支援の人材育成
- (2) 家庭教育を支援する人材（コーディネーター）育成と場づくり
- (3) 学校支援ボランティアの普及・育成
- (4) 小学校就学前の家庭教育支援

5 企業等が取り組む家庭教育支援

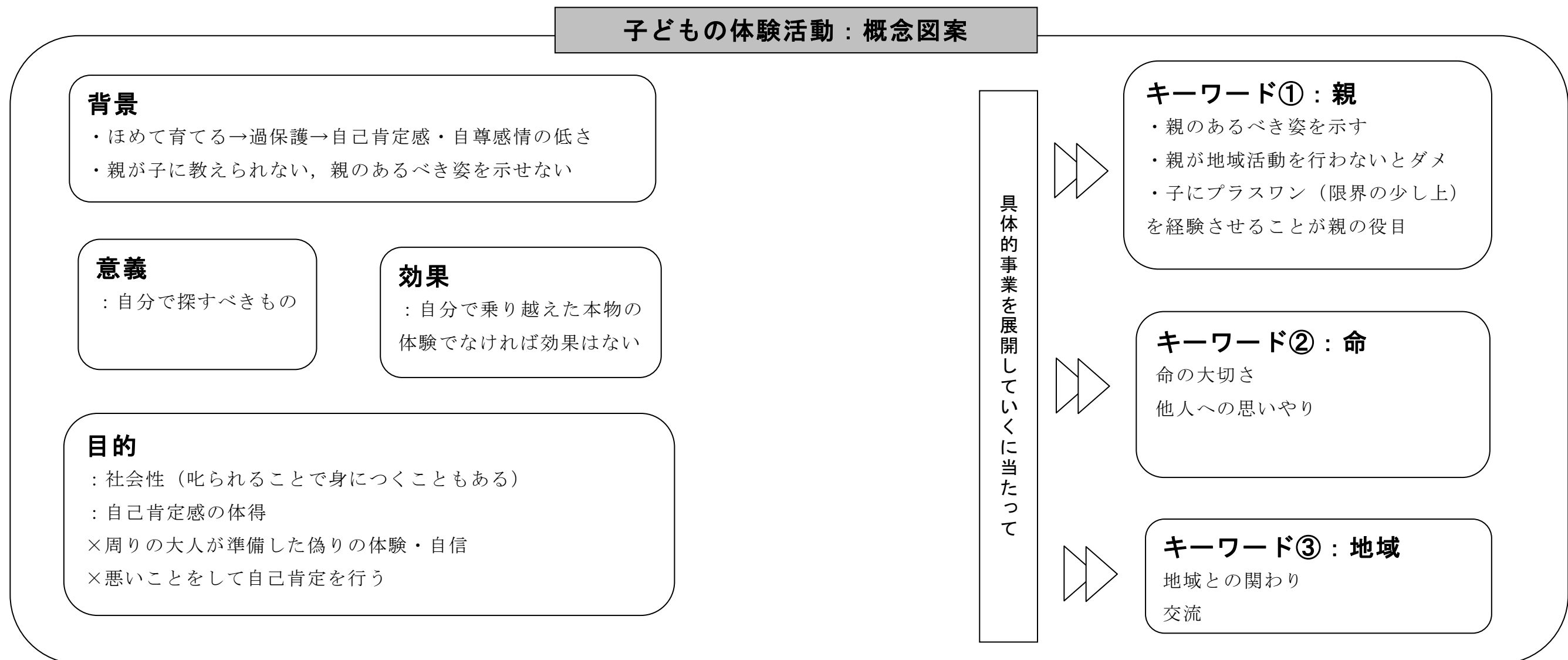
- (1) 企業の持っている教育資源（人・内容・施設等）を有効活用した家庭教育支援
- (2) 働く親（保護者）の家庭教育支援として企業・事務所の協力体制づくり
- (3) 大学との連携

3 子どもの体験活動（概念図案）について

これまでの協議を踏まえ、柏市における子どもの体験活動について、以下のとおり概念図案としてまとめました。
つきましては、以下の概念図に対して、2つのグループに分かれて協議いただき、補足や修正等を行っていただきます。

〔手順〕

- ①最初に、それぞれの考えをフセンにご記入いただきます（1枚に1項目）。
- ②グループ内で、1人ずつ順番にフセンを読み上げながら、模造紙に貼っていただきます。
- ③模造紙に貼られた内容について、協議していただき、最後に、代表の方に発表していただきます。



4 子どもの体験活動（事業案）について

協議いただいた「子どもの体験活動（概念図）」を踏まえ、体験活動の具体的な事業案について、2つのグループに分かれて協議いただきます。

〔手順〕

①最初に、それぞれの考えをフセンにご記入いただきます（1枚に1事業）。

※事業名、事業概要、対象、狙い等をご記入ください。

②グループ内で、1人ずつ順番にフセンを読み上げながら、模造紙に貼っていただきます。

③模造紙に貼られた内容について、協議していただき、最後に、代表の方に発表していただきます。

※できでしたら、キーワードごとに1つ以上の事業案をお願いいたします。

5 平成28年度社会教育委員会議について

(1) 平成28年度の開催予定

日時等	議題（予定）
第1回 7月19日（火）	<ul style="list-style-type: none">・ 第3次柏市生涯学習推進計画について・ 平成28年度生涯学習部各課・館・所主要事務事業概要について・ 子どもの体験活動について
第2回 11月8日（火）	<ul style="list-style-type: none">・ 他市町村における社会教育委員の答申・建議等について・ 柏市における過去の提言について・ 子どもの体験活動（概念図案）について・ 子どもの体験活動（事業案）について
第3回 2月	<ul style="list-style-type: none">・ 平成28年度社会教育団体への補助金交付について・ 子どもの体験活動に関する“まとめ”

